

鷺別、西陵中生徒会 海星学院高に寄贈

「寺子屋運動」に弾み

登別市鷺別中学校(横山秀人校長、265人)と西陵中学校(嶋原洋二校長、168人)の両生徒会が4日、室蘭・海星学院高校生徒会(松木美優会長)に書き損じはがき600枚を寄贈した。

(石川綾子)

鷺別中の生沼太郎生徒会長(2年)、木口潮音さん(同)、西陵中の本山蓮生(同)が同高を訪問。両校ではそれぞれ、校内放送やプリントを配布し、書き損じはがきポストを設置

するなどして、回収を進めてきた。生沼会長は「昨年引き継ぎ取り組んだ。たくさん生徒が協力してくれました」、本山会長は「これからも高校生と協力して、世

界の人々に役立つ活動をしたい」と、はがきを手渡した。受け取った松木会長は「みなさんが集めてくれたおかげでカンボジアの教育施設建設に、弾みがつきます」と感謝した。

海星学院は2011年度(平成23年度)から日本ユネスコ協会連盟主催の世界寺子屋運動に参加。宛名を間違えたり、反対に印刷してしまったりはがき1枚が約45円に換算され、発展途上の教育施設の建設や運営費用に使われる。2月20日にはカンボジア・ロハル村に13棟目となる寺子屋が開所した。14年度は約8千枚のはがきが集まり、3月中旬に室蘭ユネスコ協会(立野了子会長)を通して同連盟に送る。

書き損じはがき



◀ 海星学院高生徒会(左3人)にはがきを手渡す両校の生徒